

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 藤沢市朝日町計画	階数	地上11F
建設地	神奈川県藤沢市朝日町10-1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、商業地域、準防火地域	平均居住人員	188人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2021年12月22日
敷地面積	1,599㎡	作成者	大成ユレック(株)一級建築士事務所
建築面積	559㎡	確認日	2021年12月22日
延床面積	4,811㎡	確認者	大成ユレック(株)一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆☆☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 93%  
③上記+②以外の 93%  
④上記+ 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 建物本棟が工場で作成し現地にて組み立てを行なうプレキャスト鉄筋コンクリート造のため工事現場での廃材を削減し、工事車両も少ないためCO <sub>2</sub> の発生も抑え環境に配慮された建物です。		<b>その他</b>
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 設備は耐用年数の長い配管材を採用し建物の長寿命化に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 0
<b>LR1 エネルギー</b> 潜熱回収型給湯器、LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> P.S.、天井内配管等により設備との絡線を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率=93%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される